

レーマン方式

「基準となる価額」に応じて変動する各階層の「乗じる割合」を、各階層の「基準となる価額」に該当する各部分にそれぞれ乗じた金額を合算して、報酬を算定する手法。

「基準となる価額」の一例

①譲渡額

= 株式価額等の譲渡額

②移動総資産額

= 譲渡額 + 負債

③純資産額

= 資産 - 負債

「乗じる割合」の一例

基準となる価額	報酬率
5億以下	5 %
5億超～10億円以下	4 %
10億超～50億円以下	3 %
50億超～100億円以下	2 %
100億超	1 %

最低手数料が適用される例

例) 謙渡額 5 000万円の株式謙渡

- ・着手金・月額報酬・中間金：なし
- ・成功報酬：レーマン方式（基準：謙渡額、最低手数料：1000万円（税抜））

◎手数料

- ・着手金・月額報酬・中間金：0円
- ・成功報酬： $5000\text{万円} \times 5\% \times 110\% = 275\text{万円}$ （税込）
- ・最低手数料： $1000\text{万円} \times 110\% = 1100\text{万円}$ （税込）
- ⇒手数料総額：**1100万円**（税込）

※謙渡額から手数料総額を控除した金額は3900万円となる。

登録M&A支援機関における 最低手数料の分布

